

平成27年度 地方公共団体からの寄附について

以下のとおり、寄附を受領しましたので公表いたします。

公表者：国立大学法人弘前大学長

寄附者	寄附の金額	受領年月日	内 容	寄附に至った経緯	備 考
秋田県 大館市	30,000,000円	平成27年4月10日	<p>寄附講座 (大館・北秋田地域医療推進学講座)</p> <p>地域医療を担う優秀な若手医師育成のための卒前・卒後医学教育の在り方に関する研究と、地域医療の現場で国際水準の質の高い医療を提供できる医師養成のための生涯教育の実践を通じて、地域医療、特に大館・北秋田地域における医療連携に関する研究を行うとともに、その研究成果の普及活動を行い、地域医療の充実と住民の健康福祉の向上に寄与することを目的とする。さらに、がんを中心とする同地域において重要な疾患の予防、診断、治療に関する研究を通じて、地域住民の社会福祉の向上に寄与することを目的とする。</p>	<p>弘前大学大学院医学研究科では、多くの臨床医学系講座、総合医学教育学講座、社会医学講座がそれぞれの担当の中で地域医療に関する講義を行うとともに、学外の地域医療機関の協力の下で診療参加型臨床研修を実施し、地域医療に関する卒前臨床医学教育の充実に努めている。一方、医学教育の在り方に関する検討の中で、地域医療を担う優秀な医師の養成にあたっては、卒前医学教育、卒後臨床研修、大学院教育、医師生涯教育を一貫して見直し、改善を図っていくことの重要性が指摘されている。</p> <p>北秋田地域の中核病院である大館市立総合病院は、消化器外科学講座をはじめとする臨床医学系講座との密接な協力関係の中で卒前・卒後医学教育の場を提供し、一方、医学研究科は大学院教育や生涯教育の場の提供、さらに、がん等の地域における重要な疾患に対する診療支援等を行うことで、相補的に北秋田地域の医療の充実と社会福祉に貢献してきた。</p> <p>本寄附講座の設置は、多くの臨床医学系講座、総合医学教育学講座、社会医学講座との連携の下、地域医療に対応できる診療能力を有する医師育成のための卒前・卒後医学教育の在り方に関する研究、及びがんを中心とする地域において重要な疾患の予防、診断、治療に関する研究をさらに推進するものであり、また、大学院教育も含めた医師の生涯教育を実践することで、地域医療、特に北秋田地域における地域医療の一層の充実を図る必要があることから、寄附を受け入れることとしたものである。</p>	<p>寄附講座設置日：H25.10.1 設置期間：H25.10.1～H30.3.31</p> <p>平成25年度 20,000,000円 平成26年度 30,000,000円 平成27年度 30,000,000円 平成28年度 30,000,000円(予定) 平成29年度 30,000,000円(予定)</p>

平成27年度 地方公共団体からの寄附について

以下のとおり、寄附を受領しましたので公表いたします。

公表者：国立大学法人弘前大学長

寄附者	寄附の金額	受領年月日	内 容	寄附に至った経緯	備 考
青森県	26,500,000円	平成27年4月20日	<p>寄附講座 (地域がん疫学講座)</p> <p>青森県のがんの発生・罹患の詳細を把握し、それを用いた研究を行い、その結果を青森県のがん対策に資することを目的とし、中核施設として弘前大学大学院医学研究科に寄附講座「地域がん疫学講座」を設置する。</p> <p>また、本寄附講座が行うがん疫学研究の成果の公表やがん検診の成績評価を行い、がん施策の提案を行うとともに、がんの罹患状況を把握するため青森県内のがん登録（院内がん登録と地域がん登録）の普及・充実を図り、がんをはじめとした生活習慣病にかかる地域の健康意識の向上を図るための人材を育成する。</p>	<p>弘前大学大学院医学研究科では多くの基礎医学系講座・臨床医学系講座でがんの研究を行っている。また、弘前大学医学部附属病院ではほとんどの診療科でがん臨床を行っており、さらに地域がん診療連携拠点病院にも指定されていることから、弘前大学はがんの研究やがん診療についての教育だけでなくがんの地域医療の拠点としても青森県内で大きな役割を担っている。地域の高齢化や生活習慣の変化などによってがんが診療に占める割合は年々増加しており、これに対応するために弘前大学医学部附属病院では腫瘍センターを設置している。また、公衆衛生学分野は社会医学講座が担っており、これまでがん疫学やがん対策について多くの研究発表を行ってきた。しかし、現段階では青森県内のがん罹患・死亡などについてのデータがないために、特に青森県に特化したがん疫学研究やがん対策の提言などは困難な状況である。</p> <p>今後、全国的にさらにはがんの罹患・死亡が増加すると予測されていること、そして青森県が全国で最も平均寿命が短く、がん死亡率が最も高いことから、包括的ながん対策（一次、二次、三次予防）を立てることが急務である。そのためには、青森県がん登録のデータを疫学的に解析し、それに基づいたがん対策を提案し、さらにそれをデータに基づいて評価する公衆衛生学的研究が必要であることから、是非とも寄附を受け入れる必要があった。</p>	<p>寄附講座設置日：H25.4.1 設置期間：H25.4.1～H28.3.31 平成25年度 37,000,000円 平成26年度 26,500,000円 平成27年度 26,500,000円</p>

平成27年度 地方公共団体からの寄附について

以下のとおり、寄附を受領しましたので公表いたします。

公表者：国立大学法人弘前大学長

寄附者	寄附の金額	受領年月日	内 容	寄附に至った経緯	備 考
三沢市	12,000,000円	平成27年4月24日	<p>寄附講座 (地域総合診療医学推進学講座)</p> <p>地域循環型総合診療医養成システムに関する研究を通じて、地域医療の充実に寄与すること、更に、高齢化時代における地域医療に関する各種研究を通じて、総合診療医学の発展に寄与することを目的とする。</p>	<p>弘前大学大学院医学研究科では、多くの臨床医学系講座、総合医学教育学講座、社会医学講座がそれぞれの担当の中で地域医療に関する講義を行うとともに、学外地域医療機関の協力の下で診療参加型臨床研修を実施し、地域医療に関する卒前臨床医学教育の充実に努めている。一方、医学教育の在り方に関する検討の中で、地域医療を担う優秀な医師の養成にあたっては、卒前医学教育、卒後臨床研修、大学院教育、医師生涯教育を一貫して見直し、改善を図っていくことの重要性が指摘されている。</p> <p>わが国では、世界に類を見ない高齢化が急速に進行しており、65歳以上の高齢者が3,000万人を突破した。今後、更に高齢化は進んでいくものと予想され、高齢化が進行すれば、従来の領域ごとに専門分化した医学だけでは対応しきれない状況となってくる。このような状況に効率的に対応していくためには「総合診療専門医」の育成が急務となってきている。このような事情を背景として、国は2017年度から新たな専門医制度を開始しようとしており、その制度において新たに「総合診療専門医」を創設することを決定した。今後、相当数の総合診療専門医の誕生に向け、わが国の医師養成体制は大きく変貌する可能性がある。</p> <p>青森県は、従来から人口あたりの高齢者の割合が高く、また広大な面積に比して医師数が少ないことが医療上は負の要因と考えられてきた。しかし、総合診療専門医を養成する観点から見ればこれはむしろ利点であり、青森県は総合診療専門医の養成やその分野の研究を推進する上で絶好の土壌を備えていると考えられる。</p> <p>本寄附講座の設置は、寄附講座を中心として地域を包含した総合診療医学の体系的な研究を行うことに加え、青森県内の地域と密接に連携し、地域の医療機関を主舞台とした循環型の総合診療専門医養成システムを確立することで地域に対する大きな医療貢献を図るものであることから、寄附を受け入れることとしたものである。</p>	<p>寄附講座設置日：H26.4.1 設置期間：H26.4.1～H31.3.31</p> <p>平成26年度 12,000,000円 平成27年度 12,000,000円 平成28年度 12,000,000円(予定) 平成29年度 12,000,000円(予定) 平成30年度 12,000,000円(予定)</p>

平成27年度 地方公共団体からの寄附について

以下のとおり、寄附を受領しましたので公表いたします。

公表者：国立大学法人弘前大学長

寄附者	寄附の金額	受領年月日	内 容	寄附に至った経緯	備 考
弘前市	15,000,000円	平成27年5月15日	<p>寄附講座 (地域健康増進学講座)</p> <p>弘前市を中心に「地域保健」、「健康づくり」を軸として地域や職域などを単位とした健康保持増進のための研究を行い、もって国民の健康に資することを目的とする。併せて、地域保健活動を推進するため、本寄附講座を中心として地域保健、健康推進に関わる人材の育成を行う。</p> <p>また、健康科学に関わる研究成果の公表や各種講演の企画・開催等を通じ、地域住民に対し生活習慣病の予防、改善策や健康の維持、増進策に関わる知識を啓発、普及するとともに、これに関わる具体的な方法や行動を助言、指導する。さらに、これに関わる社会的基盤の整備と地域システムの構築を目指す。</p>	<p>現在、大学院医学研究科では、社会医学講座及び健康・スポーツ医科学センターを中心として、実際の一般地域住民を対象とした地域保健活動の実践及びその効果を検証する研究を行っている。</p> <p>本寄附講座は、寄附者からの寄附を受け入れ、平成24年4月に設置した。本寄附講座を中心として“ひろさき健幸増進リーダー育成事業”や“岩木健康増進プロジェクト”を実施し、弘前市の健康増進に多大な貢献をしてきた。この流れを受け、弘前市では“健康づくりサポーター”養成という新規事業を平成27年度から開始することとなった。この“健康づくりサポーター”、“ひろさき健幸増進リーダー”、そして既存の健康リーダー（食生活改善推進員）がタッグを組み、今後の弘前市全体の健康増進活動を推し進めていかなければならない。よって、設置期間延長に係る寄附を受け入れたものである。</p>	<p>寄附講座設置日：H24.4.1 設置期間：H24.4.1～H30.3.31</p> <p>平成24年度 15,000,000円 平成25年度 15,000,000円 平成26年度 15,000,000円 平成27年度 15,000,000円 平成28年度 15,000,000円(予定) 平成29年度 15,000,000円(予定)</p>

平成27年度 地方公共団体からの寄附について

以下のとおり、寄附を受領しましたので公表いたします。

公表者：国立大学法人弘前大学長

寄附者	寄附の金額	受領年月日	内 容	寄附に至った経緯	備 考
弘前市	5,000,000円	平成27年9月18日	<p>学都ひろさき未来基金</p> <p>学生を地域課題に対してもグローバルな視点で対応できる人材として育成するために、弘前市や企業等の協力を得て「学都ひろさき未来基金」を設立する。その資金によって「弘前大学グローバル人材育成事業」を展開し、学生の海外研修や海外留学等を促進する。</p>	<p>弘前大学は地域とともに歩み世界に向けて情報発信をすることを基本方針として、地域課題の解決に立ち向かい地域活性化を担う人材の養成に努めることとしているが、今日世界的な競争と共生が進む現代社会においては、地球規模（グローバル）の視野を持ちながら地域（ローカル）の課題に主体的に取り組み、これを解決できる人材すなわちグローバル人材を育成することに継続的に取り組むことが必要となっている。このグローバル人材育成事業の継続的実施を実現させるために、是非とも寄附を受け入れる必要があった。</p>	